

概要版

区民の情を^{こころ}生かす福祉・保健のまちプラン
第3期南区地域福祉保健計画
平成28年度～平成32年度

区民の情を^{こころ}生かす福祉・保健のまちプラン

南の風はあたたかい

Q

南区地域福祉保健計画ってなあに？



A

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを、地域の皆さんと区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ（地域包括支援センター含む。以下、同様）をはじめとした区内の福祉保健関係者・団体が力を合わせて進めていく計画です。地域の皆さんや福祉保健関係者などが何度も話し合い、南区の将来像を思い描きながら策定しました。

（この計画は社会福祉法第107条に基づき行政が策定する「地域福祉計画」と同法第109条に基づき社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」を一本化したものとなっています。また、横浜市では保健に関する取組を地域福祉の取組と一体的に推進しており、「地域福祉保健計画」としています。）



南区マスコットキャラクター
みなっち

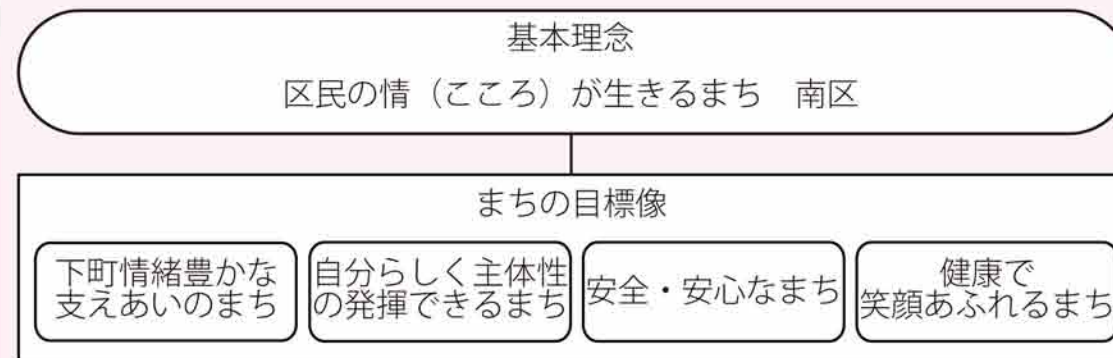
Q

第3期南区地域福祉保健計画（以下、第3期計画）は何を目指しているの？



A

南区では、以下の「基本理念」と4つの「まちの目標像」の実現を目指します。



第3期計画は、まちの目標像を具体的に実現するため、「つながり・支えあい」「活躍の機会・参加の場」「情報共有と災害時の備え」「健康づくり」を重点的に進めていきます。





第3期計画には どんなことが書いてあるの？



A

次の4つの重点目標に基づいて、具体的な取組を書いています。
「区全体計画」は、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、福祉保健関係団体ネットワーク（※）（最終ページ参照）それぞれが、また「地区別計画」は16地区が、同じ重点目標に基づいて、具体的な取組を表記しました。以下に「区全体計画」、また、中面に「地区別計画」の取組例を紹介します。



重点目標1 : つながり・支えあい

●日ごろから声を掛け合い、つながり・支えあいの関係をつくろう

<具体的な取組例>

- 地域の行事や活動を通し、様々な世代間のつながりを広げます。
- 気軽に参加できる「ちょこっとボランティア」活動を広げます。
- 児童虐待の予防や見守りを強化し、子育てを支援するネットワークづくりのための「エリア別児童虐待防止会議」を開催します。

重点目標2 : 活躍の機会・参加の場

●誰もが活躍できる機会と身近な参加の場をつくろう

<具体的な取組例>

- 子育てサロンや高齢者サロンの開設・運営を支援します。
- 定年後の「地域デビュー」を応援します。
- 地域の次世代を担う人材育成のための「寺子屋みなみ」を開催します。

重点目標3 : 情報共有と災害時の備え

●日常の情報共有を進め、災害時にも安心できる備えをしよう

<具体的な取組例>

- 日ごろの見守り活動を、さらに充実するとともに、共助を進めるため「みなみ防災ガイド（共助編）」を策定します。
- 障害児者が安心して避難できるスペースづくり体験等を行います。
- 子育てサロン等と地域が協力して防災訓練等を実施します。

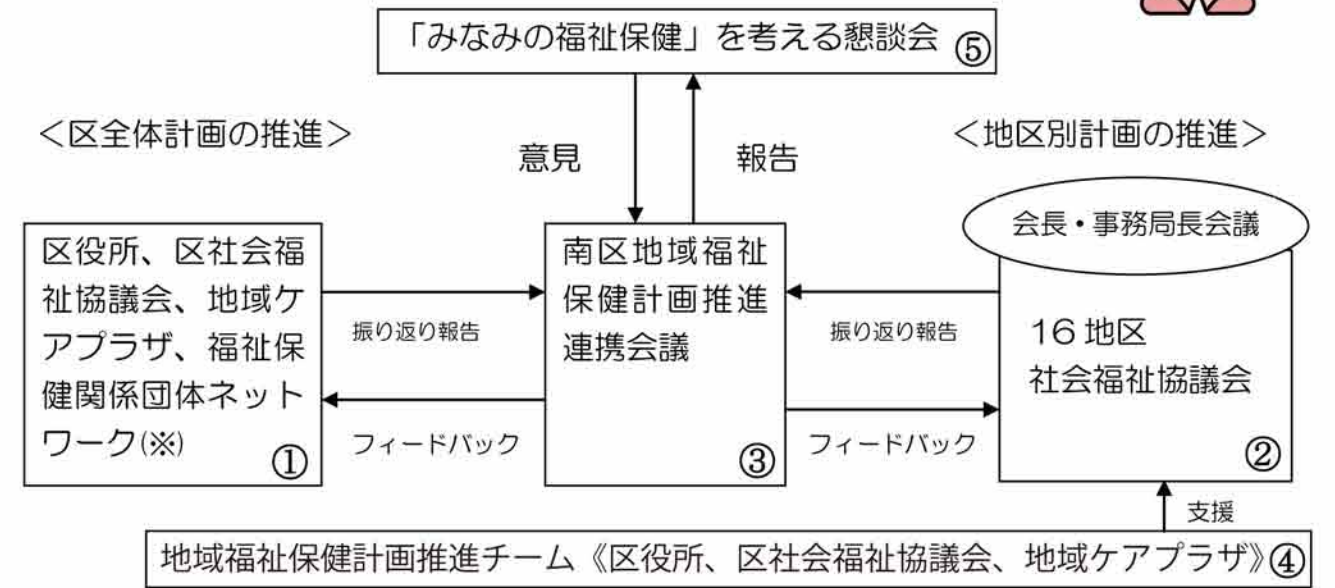
重点目標4 : 健康づくり

●身近な活動を通して健康づくりを進めよう

<具体的な取組例>

- 各地区で健康増進のためのウォーキングイベント等を開催します。
- 健康づくりに取り組むきっかけとなる新たな事業を実施します。
- 高齢者サロン等で健康づくり活動が行われるよう支援します。

☆第3期計画を進めるために…



- ①「区全体計画」は、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、福祉保健関係団体ネットワーク（※）が計画を策定し、推進します。
- ②「地区別計画」は、地域の皆さんで構成される地区社会福祉協議会が主体となり、計画を策定し、推進します。
- ③「南区地域福祉保健計画推進連携会議」は計画の両輪である「区全体計画」と「地区別計画」をつなぐ場です。計画を推進する関係者で構成されており、「区全体計画」及び「地区別計画」の毎年度の振り返りを基に、それぞれの取組や知恵を報告・共有し、新たな連携等を進めることを目的としています。
- ④「地域福祉保健計画推進チーム」は区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザで構成され、「地区別計画」を支援していきます。
- ⑤「『みなみの福祉保健』を考える懇談会」は福祉保健関係者で構成され、「南区地域福祉保健計画推進連携会議」で共有した情報や知恵等を報告し、さらなる充実に向けた意見をいただく場です。

◆区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの三者が連携し、計画全体を支えています。

※福祉保健関係団体ネットワークとは、以下のテーマで構成された団体のネットワークです。
子育て関係団体、ボランティア関係団体、障害児者関係団体

事務局・問合せ先

南区役所福祉保健課 運営企画係事業企画担当

電話 045-341-1183 FAX 045-341-1189

所在地 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 2-33

社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会

電話 045-260-2510 FAX 045-251-3264

所在地 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 8階

平成28年3月発行

詳しい内容は、区役所や区社会福祉協議会、地域ケアプラザで配布している計画書冊子又は区役所、区社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

地区 こんな 進め

⑫六ツ川地区

スローガン ふれあい六ツ川

- 取組**
- 担い手の輪を広げるため、地区社協広報紙「むつかわ瓦版」やチラシ、地区連合はじめ地区内の関係団体、活動者の声かけなど様々な手段を活用していきます。また、新たに活動へ参加してもらうために、活動や行事の周知など広報紙を充実していきます。
 - 「六ツ川保健体操会」を継続して実施すると共に、各自治会で行われている健康づくり事業を地区全体で共有していくため、地区社協広報紙等で情報発信を進めます。
 - 「食事会」や「肢体不自由者福祉バス旅行」、「昔遊び大会」など地区社協が長年続けてきた福祉保健活動を活かして住民同士の交流をさらに深めていきます。
 - 高齢者定期訪問事業実施団体と連携し、地域で見守りが必要な要援護者の現状把握に努め、災害時に孤立させない支援につなげていきます。



⑬六ツ川大池地区

スローガン つなげよう ひろげよう 地域で支える安心なまちづくり!

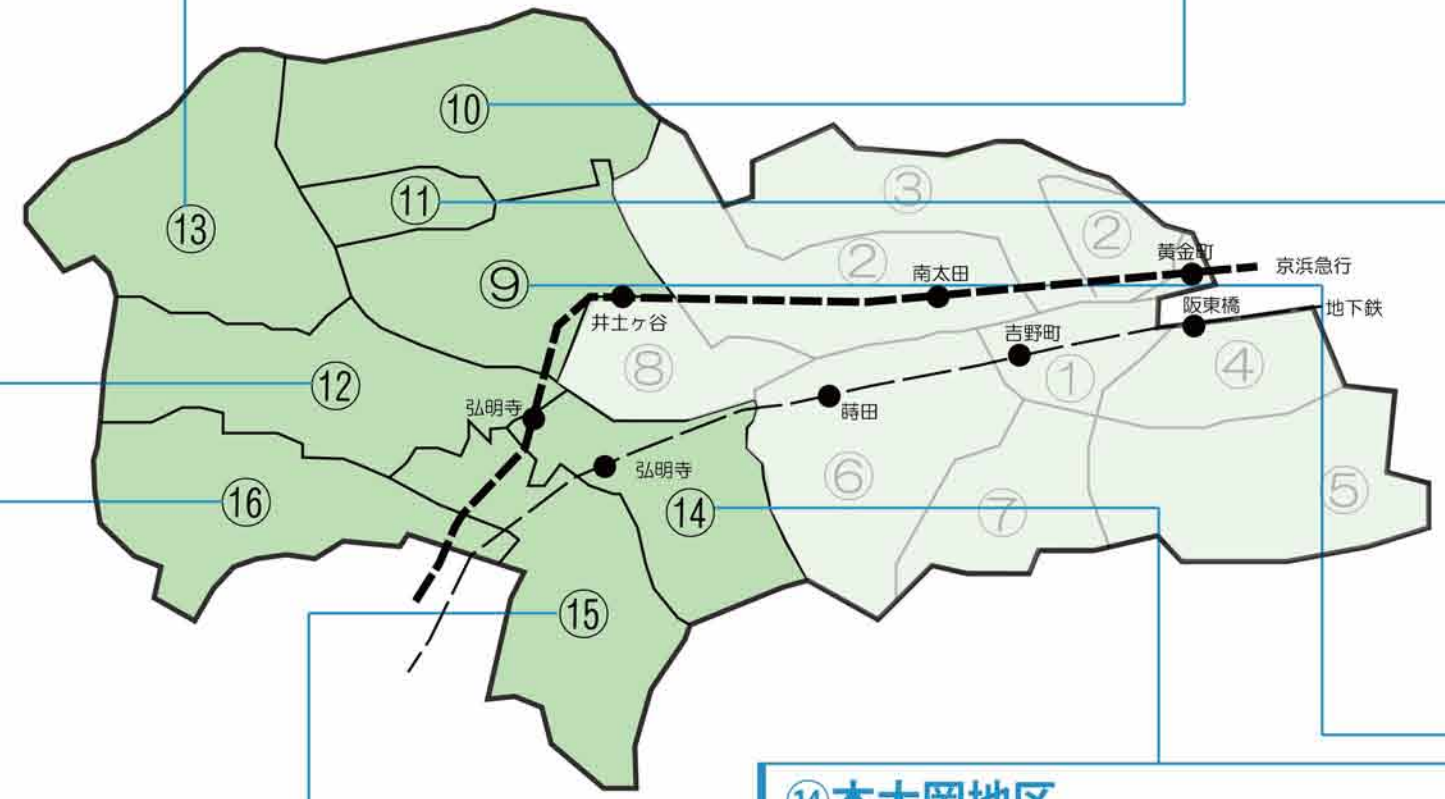
- 取組**
- 必要な方に必要な情報が届くよう、地区社協広報紙「大池だより」、事業ごとのチラシ、直接の声かけ、六ツ川地域ケアプラザ広報紙「地域交流便」の協力など様々な方法で発信していきます。
 - 「健康づくり」をきっかけとした様々な形の交流の場を作ることで、特に男性の地域参加を促進します。
 - 活動への参加者が既に関わっている活動以外の地域の福祉活動にも関心を持ってもらえるような情報提供や働きかけを行っていきます。
 - 様々な年代の方々が参加しやすい事業を展開し、担い手を発掘します。
 - 高齢者等定期訪問事業実施団体（民生委員児童委員、友愛活動員、保健活動推進員）等と連携し、要援護者の状況の把握に努めます。



⑩北永田地区

スローガン ☆かわす挨拶で「明るい街」に ☆いきいき暮らせる街づくり ☆身近な子育て支援を充実させよう

- 取組**
- 住民に、地域の関係団体を知ってもらえるように、地区社協広報紙に地区社協をはじめとした様々な地域の取組や地域ケアプラザ等の情報を多く掲載します。
 - 子育てサロンの運営に関わる担い手を多く見つけて、サロンの運営が継続できるように、人材を育てます。
 - 災害時の具体的な支援方法を検討します。
 - 民生委員・児童委員、友愛活動員、保健活動推進員が協働することで、支援が必要な人を速やかに把握し、適切な支援ができるような仕組みをつくりまします。
 - サロンや食事会など様々な場面で、気軽にできる健康づくり活動について取り組む機会を増やします。



⑪永田みなみ台地区

スローガン 人と人がふれあう街づくり

- 取組**
- 既存のサロンや食事会など様々な場面で、介護予防につながる運動や気軽に参加できる健康づくりに取り組む機会を増やします。
 - 「永田みなみ台地区見守り隊」の中から、認知症等、見守りが必要な高齢者を定期的に訪問し、実践活動できるメンバーを増やし、育てます。
 - 子育て中の親が、いつでも気軽に相談できる場となるように努めます。
 - 地区社協広報紙等を活用し、障害についての正しい知識を地域の中で積極的に情報発信し、住民の障害児者に対する理解を深めます。
 - 防災に関する情報を地区社協広報紙に掲載したり、地域のイベント開催時等に参加者へ伝えたりして、住民の防災意識を高めます。



⑭別所地区

スローガン 微笑が絶えない ほっとする故郷

- 取組**
- 広報紙を通じて防災に関する情報や地域特有の課題を発信することで住民の防災意識を高め、災害時に隣近所で支えあえる関係を目指します。
 - 「別所の歴史懇談会」を通じて学校との交流を深め郷土愛を育むとともに、地域の異世代が日常的に声をかけあえる関係を目指します。
 - 有償ボランティアグループ「スマイルサポート別所」の活動を通して、支援が必要な人を支えます。
 - 地域の子育てグループや既存の活動との連携を図ります。
 - 地域の指導員・推進員等と協力し、介護予防などの講座を通じて住民の健康づくりへの関心を高めます。



⑮大岡地区

スローガン 隣近所を大切にしよう!

- 取組**
- 高齢者や障がい者などの要支援者への理解を深めるための研修・勉強会を実施し、思いやりの心を育みます。
 - 「連絡協議会」の目的や取組を広く発信し、賛同者を募り活動を充実させます。
 - 学校や施設・企業・商店など様々な福祉保健活動の様子を取材し、地域の関心を高めます。
 - サロン活動を通じて地域で見守る体制をつくり、高齢者や子育て世代の孤立を防ぎます。



⑯本大岡地区

スローガン ともに生きる福祉のまちづくりを目指して

- 取組**
- 様々な世代の地域住民が参加するイベントなどに障害のある方々を招き、同じ地域住民として親交を深めていきます。
 - 子ども会や婦人部など各会の活動状況を共有し、その中でつながりをつくるために交流の機会を設けます。
 - 隣近所の中で、日常的に見守ることの重要性について理解が広まるよう、イベントや広報紙を通じて意識づくりを進めます。
 - 地域福祉活動への関心が高まるよう、また、本大岡地区社会福祉協議会の活動を知ってもらえるよう、現在の取り組みについて広報紙などを通じて紹介します。



⑰南永田・山王台地区

スローガン 明日を目指して、誰もが安心して暮らせる温かい街づくり

- 取組**
- 地域で生活する高齢者、障害児者、乳幼児等が気軽に参加できる行事等を実施し、住民間の交流がもっと図れるようにします。
 - 支援が必要な人の把握と近所同士の見守りの方法について、具体的に検討します。
 - 「温かい街づくり研修会」を通して、地域の状況や課題を多くの住民に伝えて関心をもってもらう、地域を支える立場になってもらえるようにします。
 - 地区社協広報紙等を活用し、地域で集える場所について、繰り返し住民向けに情報発信し、広く伝わるようにします。



では 取組を ます!

②太田地区

幸福!満腹!声かけ!太田地区!

- 取組**
- 民生委員、友愛活動員、保健活動推進員等の協力を得て、運動会、お祭り、敬老会、新年会など地域の行事、食事会、サロン、地域ケアプラザの事業などへの参加を呼び掛けます。
 - 食事会やサロンに継続して参加してもらうために、地区内にある食事会・サロン同士の情報交換等を実施し、飽きさせない工夫が出来るよう取り組みます。
 - 「声かけ運動」「挨拶運動」を継続し、顔の見える関係づくりを進めます。
 - 総合型地域スポーツクラブ等と連携し、小学生から参加できる走り方教室やヒップホップダンス教室、また、成人向けのエアロダンス、太極拳など楽しく運動できる企画を実施します。



③太田東部地区

心ふれあうまちづくり

- 取組**
- 高齢者が集えるサロンを継続し、安定した運営ができるよう取り組みます。
 - 食事会同士の連携を図りながら、充実した食事会を開催します。
 - 育児に奮闘する子育て世代が孤立する事がないよう、保育園やケアプラザ、学校等と連携し、地域の活動につなげていきます。
 - 一時避難場所等の地域内の情報を整理し、情報共有を進めます。



南区社会福祉協議会マスコットキャラクター
トモニー

⑧井土ヶ谷地区

あいさつとふれあいのまち・井土ヶ谷

- 取組**
- 子育てサロンの「豆の木」や「えの木」と高齢サロンの「いこい」や「幸励」の合同サロンを自然な形で無理のない範囲で行い、少しずつ異世代交流を図っていきます。
 - 食事会と共に元気づくりステーション等でも健康が維持されるよう取り組みます。
 - 子ども又は親子料理教室を実施するなど、地域の取り組みへ関心を深めます。
 - 個人情報等が、有事の際有効に活用されるよう区や関係機関と連携を図ります。また、要援護者名簿の理解を進め、日常からこれら情報の更新も定期的に行い、正確な情報確保に努めます。



⑥蒔田地区

パワーアップました!

- 取組**
- 広報紙やホームページを読んだ地域住民(受け手側)の反応を収集できるような仕組みを検討します。
 - 小学生や中学生と地域住民との交流の機会をつくります。
 - 高齢者サロン「ふれあいサロン」に参加することで、地域の役員と顔見知りになり、挨拶をしよう関係をつくります。
 - 子育てサロンや事業を通して、地域住民と顔見知りになることで、子どもを地域で見守る体制をつくります。
 - 地域内の障がい関係施設と連携し、一緒に行うことを検討します。まずは、研修や行事などモデルとなる企画案を実施し地域に広がっていきます。



⑦堀ノ内陸町地区

暮らし広がれ!堀陸

- 取組**
- 子どもから高齢者まで、誰もが参加できる事業を実施し、日頃から顔の見える関係を築きます。
 - 担い手の負担が大きくなるような仕組みづくりや、気軽に参加できることをアピールします。
 - 子どもの頃から地域とのつながりをもてるように、親子で楽しく参加できる行事を実施します。
 - 災害時にも助けあえる関係をつくるために、日頃から防災に関する地域の仕組みづくりを検討していきます。



④寿東部地区

気持ちが通じる まちづくり

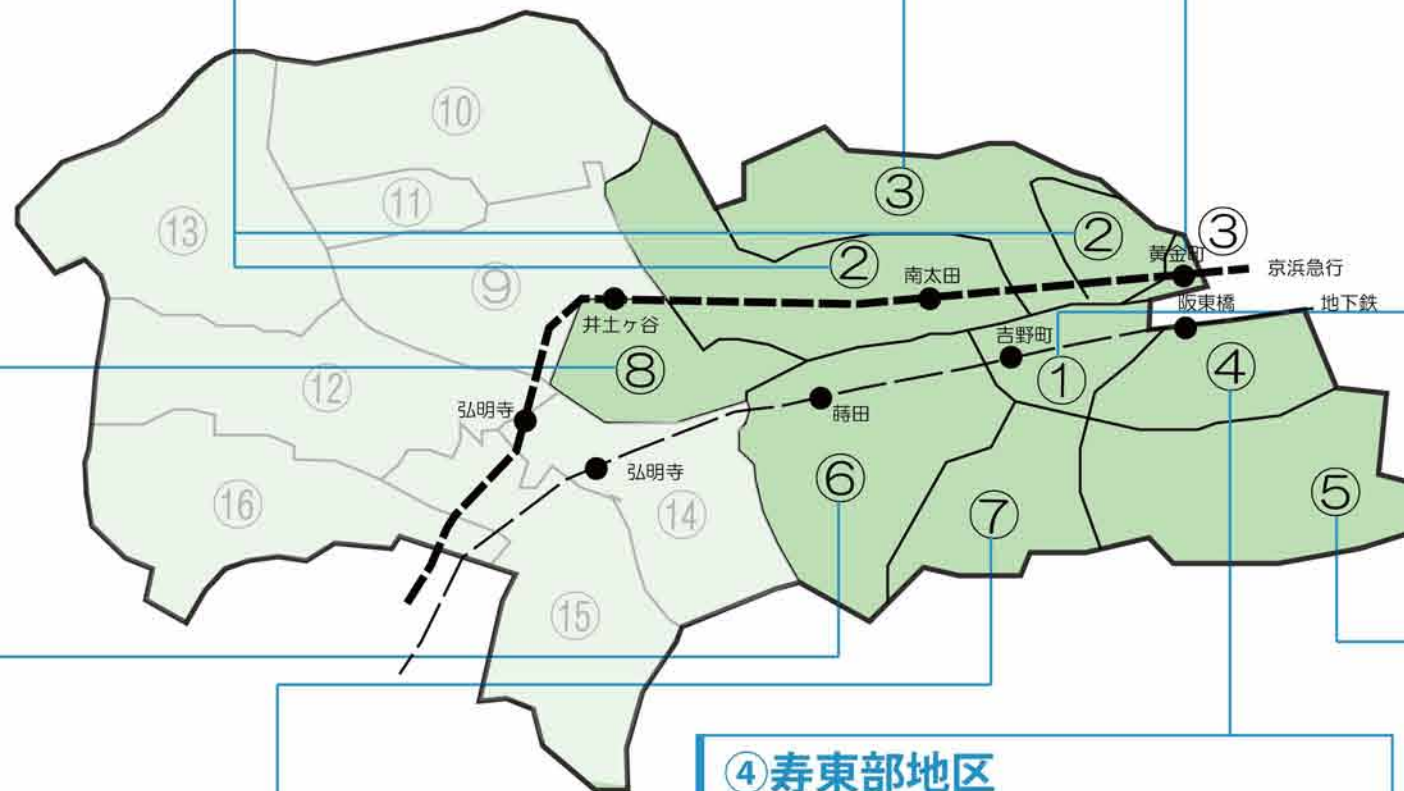
- 取組**
- 子育てサロン「サン・サンディ」を毎月開催し、地域の子育て中の親子が集い、ママたちがほっとできる場所を続けてつくります(8月・1月休み)。
 - 広報紙「えん」を発行し、地区社協事業について掲載し、地域住民への周知を広く図ります。また担い手としても参加を呼び掛けます。
 - 南吉田小学校地域防災拠点・学校総合防災訓練に地区全体で取り組みます。
 - 保健活動推進員を中心に、毎月ケアプラザを会場に実施している体操教室を継続して実施します(9月・1月休み)。ラジオ体操、みなっち体操、チューブ体操を楽しく歌いながら取り組みます。



⑤中村地区

小さな輪を大きな輪へ ~広げよう地域の和~

- 取組**
- 地域で気軽に集える場を充実させ、住民同士の交流を深め、顔の見える関係づくりを進めます。
 - 地域の福祉施設の紹介や自治会町内会活動のほか、地域で活動する団体等の活動を紹介し、広報活動を強化していきます。
 - 地域の福祉関係施設や団体等との連絡会を開催し、日頃からの連携強化を進めます。
 - 災害時要援護者支援事業について、住民にわかりやすく情報発信し、自助・共助の意識を高めます。



①お三の宮地区

新世代のまちづくり!

- 取組**
- 日枝小の地域防災拠点訓練に参加・協力し、将来の担い手となる子どもたちとともに、災害時に備えていきます。
 - 子育てサロン「ほっとmom」を継続して運営し、地域で安心して子育てができるよう子育て中の親子の交流を図ります。
 - 広報紙「お三の宮地区社協だより」を幅広い世代に向けた充実した紙面づくりとし、発行部数を大幅に増やし全戸配付とすることにより、実施事業の周知を図ります。
 - 地域のキャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を開催し、地域で認知症理解を進め、見守り活動に取り組みます。

